



2022. 7. 11

環境省「令和4年度 ESG 地域金融促進事業」の採択について

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、環境省が実施する「令和4年度 ESG 地域金融促進事業」の支援先金融機関として採択されましたので、その概要をご案内します。

1. ESG 地域金融促進事業について

- 環境省では、環境・社会にインパクトがあり、地域の持続可能性の向上や地域循環共生圏の創出に資する ESG 金融の促進を図るため、ESG 地域金融促進事業を実施しています。
- 本事業では、地域の課題解決や資源の活用に資するビジネスの構築支援や、ESG 要素を考慮した適切な知見やファイナンスの提供など、地域金融機関における活動を支援しています。

2. 採択された静岡銀行の事業について

事業名	地域におけるインパクト可視化およびインパクト測定・マネジメント(IMM)体制の確立
概要	○静岡銀行では、基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、経営基盤である地域の持続的な成長を実現するため、サステナブルファイナンスに積極的に取り組んでいます。 ○こうした活動の一環として、お客さまと地域経済の持続的な発展を金融面から支援すべく、2019年1月に本邦初となる「中小企業向けポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)」の契約を締結し、以降、本年6月末までに累計36件・約116億円の契約を締結しています。 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、お客さまが定めたKPIの達成状況に応じて地域経済に与える波及効果を試算しており、累計で約4,076億円の経済波及効果を見込んでいます。 ○静岡銀行では、モニタリングを通じてお客さまが定めたKPIの達成に向けた支援に取り組むとともに、本事業を通じ、特定されたインパクトと経済波及効果を可視化・測定する体制を確立することで、モニタリング体制のさらなる強化を図ります。 ○今後も、お客さまの課題解決に向けた伴走支援体制を強化し、お客さまの企業価値向上と地域の持続的な成長に貢献してまいります。

※企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資